

平成31年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
出納室
73p

大事業名	会計管理事業	款	項	目
		総務費	総務管理費	会計管理費
総合計画	政策	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり		
	基本施策	安定的な行財政運営の推進		
	施策	持続可能な財政運営		
	総合戦略			
	個別計画			
		関連指標	[総合計画]	
			[総合戦略]	
			[その他]	

1.概要

事業内容	町の歳入及び歳出に関する事務について、財務会計システムを介して適正な審査・帳票処理を行う。歳入歳出決算書の調製を行う。
対象	歳入歳出に関する出納業務、指定金融機関
意図・目的	会計書類の適正な審査・帳票処理の執行を行い、収入支出事務を適正に執行する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	H31決算	うち特定財源
1	会計管理事業	歳入歳出の出納に関すること 現金、保証金及び有価証券の出納保管に関すること 現金及び財産の記録管理に関すること 支出負担行為の確認や支出命令等の審査に関すること 歳入歳出決算書等の作成に関すること 源泉徴収所得税に関すること その他会計管理者の事務に関すること	4,715	4,589	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

歳入歳出に関する出納業務に関すること、会計書類の審査に関すること、歳出歳出決算書の調製について、適正に事務を執行できた。 主な経費：指定金融機関派出事務手数料（本庁・支所）4,000,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート			所属名 決算審	吉川支所 81p
大事業名	支所事務事業	款	項	目
		総務費	総務管理費	支所費

総合計画	政策	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安定的な行財政運営の推進		[総合戦略]
	施策	行政運営の推進		
	総合戦略			[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	西地区の総合窓口としての支所運営を適正に行う。
対象	西地区住民等
意図・目的	西地区住民の利便性を増進するとともに住民サービスの向上を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	支所事務事業	①戸籍、住民基本台帳関係の各種受付 ②税務関係の各種受付 ③障害福祉、児童手当、児童扶養手当等の各種受付 ④国民健康保険、後期高齢者医療保険関係の各種受付 ⑤年金関係の各種受付 ⑥介護保険関係の各種受付 ⑦その他町行政に係る各種受付	236	245	11

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○各々が作成及び改訂した事務処理マニュアルを職員間で共有化した結果、事務処理が効率化し、住民サービスの向上を図ることができた。	
※令和元年度 各業務総受付件数（証明書発行件数を除く）	9,783件
証明書発行件数	12,438件
○障害福祉、児童手当、児童扶養手当等の各種受付業務については、福祉相談支援室の設置により令和元年度で終了。	

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	制度改正等により窓口業務が複雑・多様化しており、また、証明書発行以外にも相談業務等が増えていることから、事務処理に時間を要するケースが増えている。	複雑・多岐にわたる業務と多様化する住民ニーズ。
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	対応に時間を要する窓口業務が増加し、待ち時間の増加が懸念される。	新たな制度の創設や見直しにより各種制度が複雑化する傾向にあり、このことにより相談者が増加する傾向にある。
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

来庁者に良質なサービスが提供できるよう、制度改正を盛り込んだ事務処理マニュアルを改訂するとともに、複雑・多様化する住民ニーズに迅速かつ確に対応できるよう、組織間の連携や職務に精通した職員の育成に努めていく。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
吉川支所
81p

大事業名	支所庁舎管理事業	款	項	目
		総務費	総務管理費	支所費

総合計画	政策	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安定的な行財政運営の推進		[総合戦略]
	施策	行政運営の推進		
総合戦略				
個別計画		吉川支所 補修・改修計画		[その他]

1.概要

事業内容	西地区の総合窓口として支所庁舎管理を適正に行う。
対象	庁舎等
意図・目的	西地区の利便性を増進するため支所庁舎管理等を行う。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	支所庁舎管理事業	①支所庁舎機能の維持・管理 ②支所庁舎環境の維持・管理	4,914	5,083	629

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

定期的に庁舎等のメンテナンスを実施することで、来庁者に快適に利用してもらえる環境を整えることができた。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	平成27年度に改修工事を行ったが、今後も設備等の補修が必要。	改修工事に対応できなかった補修箇所が残っている。
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	西地区の総合窓口として施設の充実を図る必要があるが、バリアフリー化していない。	2階へ上がる手段が階段のみであり、エレベーター等の設備が設置されていない。
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

吉川支所の庁舎管理を適正に行うため、「吉川支所 補修・改修計画」に基づき、毎年計画的に補修及び改修を実施する。
